

## 第4研究課題 第4分科会

### 「組織・運営に関する課題」

研究主題 「チーム学校を推進するための教頭の役割」

——— 魅力ある学校・職場にするための教頭の関わり ———

松野町立松野中学校 新城 裕 志

#### 1 研究の概要

今年度は、「愛媛県学校における働き方改革推進方針」に示された設定年度の最終年度である。北宇和郡内の各学校でも校務支援システムが導入され、業務負担軽減のためにICTが活用されている。学校日誌・保健日誌の作成や出勤・退勤時間の管理・把握、成績処理や徴収金の管理等、システム上で管理できるよう業務改善を推進している。

鬼北町と松野町の11校から成る北宇和郡は、児童生徒数の減少により、小規模校化を余儀なくされている。鬼北町では、日吉小・中学校が、県下に先駆けて平成25年度からコミュニティ・スクールに取り組み、他の学校も、平成28年度から平成29年度にかけて順次取組を始めた。松野町では、今年度から「松野町立学校における学校運営協議会」を立ち上げて、地域に根ざした学校づくりを町全体で取り組む体制が出来上がった。それぞれの地域の良さを生かして、更に地域に根ざした学校となるべく、各校が特色ある学校づくりに取り組んでいる。

子供たちを取り巻く環境や学校が抱える様々な課題は、複雑化・困難化している。このような状況の中、これからの学校は、社会と連携・協働した教育活動を更に充実させることが求められている。魅力ある学校・職場にするために、そして、地域に根ざした「チーム学校」を推進するために、教頭としてできることを実践していきたい。

#### 2 研究の内容

実践内容	教頭としての役割
(1) 北宇和郡小中学校の取組	
ア 各校へのアンケートの実施	○ アンケートによる実態把握
イ 結果の概要と考察	○ 結果の分析と共有
(2) 自校の取組	
ア 地域とつながる学校となるために	○ 学校と地域との橋渡し
イ 充実した勤務にするために	○ 組織としての取組
ウ 情報発信活動	○ 保護者・地域への発信活動
(3) 成果と課題	
ア 成果	○ 成果と課題の確認、共有
イ 課題	

#### 3 教頭としての今後の課題

- (1) 地域の特性を生かした多様な教育活動の展開と、家庭・地域との連携を深め充実させるために、教頭としてどのように関わればよいか。
- (2) 魅力ある学校・職場にするために、校内の組織体制づくりや教職員の働き方に対する意識改革に、教頭としてどのように関わればよいか。